

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		奏かなで 大門		公表日		2026年 3月 13日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	4	1	<ul style="list-style-type: none"> 職員室や相談室を使用して対応している。 ドアなどをできるだけ取り払ったり、開けておくようにしようしている。 個別対応をしたり複数の活動をしたりしながら1ヶ所に集中しないようにしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 小学校高学年以上が多い日は落ち着いて過ごせる場所が見つからない子を見かける。壁で遮られているので遠くから声をかけるぐらいの関わりしかできない場面がある時が発生する。 利用基準や方法が曖昧。 普通の民家の構造の為、死角も多い。 全体的に狭いので支援の工夫は今以上に必要。 	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	3	2	<ul style="list-style-type: none"> 職員の人数は多いと感じる 配置は+1人で配置している。 活動、連絡帳の責任者を決めその他はサポートをすることにより配置数は適切である。 	<ul style="list-style-type: none"> 強度行動障害児の送迎は他事業所を見ても信頼関係のある職員が少ないため、2人体制が安心だと思う。 職員は多いが強度高度障害の児童への対応が不十分だと思う。 子どものその日の状態によっては個別対応が必要になる時がある。その際には足りないと感じる時がある。 	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	2	3	<ul style="list-style-type: none"> 玄関やトイレの段差には台を設置。 ホワイトボードの提示物やスケジュールは大きくわかりやすいように配慮している 	<ul style="list-style-type: none"> 物の置き場が高い所にある物も年齢に応じては無理して取るようしている場面もよく見かける。また、片付けを自分たちで出来る力をつけるためにはワンクッションで出来るように工夫したい。 トイレが一つしかない。 民家を使用しているため元々の基本的な構造化は出来ていると思うが、活動スペースについては構造化がされていない。学習スペースと活動スペースが分かれていない。 一軒家である事を生かして生活感を保ちつつ暖かな支援が出来ているが、個別対応などがゆったりと出来ない点(場所)が改善を必要とする。 	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	4	1	<ul style="list-style-type: none"> 清掃・片付けをこまめに行っている。 空間除菌が出来るように配慮している。また、活動に必要な用具や用品等は片付ける場所を明確にして子どもたち自身で片付けることができるようにしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 排水管からの汚臭が強い時が多く、子ども達が「臭の匂いが家に帰ってもした」と話していた。活動、作業後に片付けられない物が積み重なっていくので物がなくなりがちになっていると思う。 定期的には行っていない。 心地よい空間であると信じているが、適した空間かと言われるとやはり狭いことが活動に合わせた空間とは難しい。 	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	3	2	<ul style="list-style-type: none"> 職員室や相談室を使用して対応している。 	<ul style="list-style-type: none"> 強度行動障害児や気持ちが落ちつかない子の居場所である空間がガラス張りなので危険を感じる。 利用基準が曖昧。 なっているが、すぐ側で他児童が騒がしく過ごしている。 個別の部屋やスペースがなく、個別対応や気持ちを静めることができない。今後個別スペース(エリア)が必要な時もあるのではないかと感じている。 	

業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	0	5	<ul style="list-style-type: none"> ・職員会議や代表者委員会は開催されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・日々の課題、問題点は共有して話し合っているが、それを改善していくための全員が安心する計画は知らされていないような気がする。 ・当日午前利用の児童が入り話し合いが十分に取れる時間がない。 ・目標設定についてあまり明確になっていないのではないかと思う。業務内容が多岐にわたったりどこまでについて振り返るのかそれぞれの職員の理解がバラバラではないかと思う。毎日の活動についての振り返りは行っているが、その中で子ども一人ひとりの目標についての振り返りは行われず、形式的になっている。 ・全体で目標設定の話し合いが出来ていない。これからは同じ目標に向かって話し合いを重ねる必要がある。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4	1	<ul style="list-style-type: none"> ・開所して今回が初めての評価アンケートを行うので今回から行う予定である。 ・モニタリングなどを行い職場と内容を共有し業務改善に繋げている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・未実施。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	3	2	<ul style="list-style-type: none"> ・職員会議や代表者委員会は開催されている。 ・事業所内での改善点を話し合い改善すべき点は改善、行っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・これから、細かい課題提起から解決の繰り返しで良い事業所に発展させたい。 ・当日午前利用の児童が入り話し合いが十分に取れる時間がない。 ・日々の振り返りの時に仕事をする時に職員が感じた難しさを話す機会はあるが、業務改善に至っていない。また、職員間で方針や対応を決めても、決めた内容が急に変更になることが多い。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	1	4	<ul style="list-style-type: none"> ・第三者がどこまでかが分かりづらいが決まった方だけではなく例えばライン、インスタ、Facebookなどで意見を拾い上げ改善を行っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・未実施だと思う。 ・第三者評価は行われていない。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5	0	<ul style="list-style-type: none"> ・研修を受講しやすい環境である。 ・事業所内研修も複数あり。 ・研修の案内は積極的に情報収集を行い興味があるものにはなるべく参加するようにしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・研修を受ける機会が少ないと思っている。また研修内容を職員に落とし込む機会が少ない。法人内研修や勉強会等はほとんど行われていない。
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5	0	<ul style="list-style-type: none"> ・インスタグラム、書面して公表している。 ・事業所のプログラムについては公表、掲示されている。 ・毎日の活動内容は目標を設定し支援に、繋げている。 	
	12	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	3	2	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもや保護者との連携は密である。 ・アセスメントにより全体で話し合いを行い個々のやりたいことを、支援目的とし計画がたてられている 	<ul style="list-style-type: none"> ・全ての職員の念頭には入っていないと感じる。一目瞭然で分かる形を考えたい。 ・特定の子ども、保護者との連携やニーズに応えていることが多い。 ・アセスメント技術が職員によってばらつきがあり、共通理解や技術を高めるための機会が設けられていない。子どものニーズよりも保護者のニーズに偏っており、一部の家庭に偏っている。
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	2	3	<ul style="list-style-type: none"> ・個別支援計画を立てる時に職員とモニタリングをもとに話し合いを行い検討を行っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・特性と対応策を事前に知らされていない。 ・職員間での共通理解がされていないまま実践されていることがある。 ・管理者が自発管と兼任しており、忙しく検討会を行うことができていない。職員会議の時にはケース会議を計画しているが、形骸的になっている。
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	3	2	<ul style="list-style-type: none"> ・全員が出来ているとは言えないがモニタリングが家族相談が、行われた児童に対しては共有されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・職員が日々意識できる形ではない。 ・共有不足、計画通りに行われていない。 ・計画を意識している職員とそうでない職員がいるように感じる。サービス計画に基づいて支援を行っていくことを普段の振り返りの時から繰り返し伝えて意識できるようにしていく。

15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	4	1	<ul style="list-style-type: none"> ・毎日の支援記録や振り返りなどにより確認できている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・手書き、メッセージ、口頭での共有が多く、標準化されたツールを使用していない。 ・インフォーマルなアセスメントについては振り返りの機会に確認する機会があるが、経験に差があるため共通理解は難しい。
16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	3	2	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもや保護者との連携は密であり支援内容は練られている。 ・個々によりねらいや支援内容を考慮し個別支援計画をたてている 	<ul style="list-style-type: none"> ・一目瞭然ではない。確認する余裕がないため、ミーティング等で毎回申し合わせするなど徹底した方が良い。 ・特定の子ども、保護者との連携やニーズにに応じていることが多い。 ・支援内容が大幅に変更・追加されることがある。 ・端的でわかりやすい内容になっていると思うが、具体的な内容について共通認識できるようにはなっていない。
17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	4	0	<ul style="list-style-type: none"> ・職員間で意見を出し合っている。 ・毎日ミーティングにて当日の活動の責任者目標を決め行っている 	<ul style="list-style-type: none"> ・会議の際に立案の声掛けを行っている。しかし、ひとりの職員に負担がかかっていると思う。また、年間計画、カリキュラムのような大枠があると良いと思う。
18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5	0	<ul style="list-style-type: none"> ・職員間で意見を出し合っている。 ・色々な経験が出来るように日々情報収集を行い固定化しないようにしている。 ・活動を定める時に全員で話し合い決めている。子どもたちが興味を持った活動は特に改善を行いながら取り入れたりする。 	
19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	4	1		<ul style="list-style-type: none"> ・職員の数に左右されやすい。 ・突発的に個別支援が行われる。 ・どの様な場面や内容の時に個別支援を行うか明確になっておらず、計画にはなっていない。支援についての基本的な勉強会を行いたい。 ・大門は年齢層が広いことや個別対応が必要な子どもが多いため個別と集団の組み合わせは必須。
20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5	1	<ul style="list-style-type: none"> ・毎日のミーティングで話し合い必要な道具を全員で作ったりしている。役割も随時決めている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・打ち合わせ通りに支援が進められない・変更が多い。 ・これまでは担当をはっきり決めず、阿吽の呼吸で連携していたがより明確に出来るようにルール化した。しかし解釈に差があり、改善を検討している。
21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	4	1	<ul style="list-style-type: none"> ・なるべく行っている。 ・その日にできない場合には次の日には振り返りを行っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・パート勤務の方に伝達が行きづらいのが気になる。チームとして力を発揮してもらうためには居ない人への伝達は大事だと思う。 ・午前利用が多く振り返りが出来ないこともある。
22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5	0	<ul style="list-style-type: none"> ・振り返りを通して行えている。 ・支援記録は毎日行い、気になる児童はその場で話し合いを行ったり良い点は共有したりする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・記録を毎日とっている。しかし内容が日記のようになることが多く、支援の検証になりにくい。
23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	3	2		<ul style="list-style-type: none"> ・モニタリングが不定期に行われている。 ・日々の業務に追われモニタリングや見直しについての意識がない。 ・はい。とはしましたが個別にいつモニタリングをする必要があるかを明記してほしい。
24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	5	0	<ul style="list-style-type: none"> ・経験、体験内容は多い。 ・自立支援に対してはクッキングや野外活動を通して自立に繋がるよう支援をおこなっている ・創作活動に対しては製作や絵画などを通して自分を表現したり出来るよう支援を行っている ・地域交流は色々な行事に積極的に参加をし地域と関わりを持っている ・余暇の提供は好きな時間に好きな事をする空間や時間を提供している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・職員の意識に差がある。振り返りの時に意識できるようになるために声掛けをしていく。

	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	4	1	<ul style="list-style-type: none"> ・自立できるようなプログラムが多い。 ・遊びや活動を複数準備して選択できるようにしたり、活動に参加できない時やしたくない時に代替の活動を提案したりしている。 ・活動の選択や自己表現をするための工夫をしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・年齢差、特性差が大きいので、複数の活動を用意する必要がある。 ・児童のニーズに偏った支援をしていることもある。
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	4	0	<ul style="list-style-type: none"> ・色んな関係機関と関わりを持っている。 ・できるだけ管理者と保育士や児童指導員の複数で参加している。 ・管理者を中心に適任者が参加している。 	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5	0	<ul style="list-style-type: none"> ・色んな関係機関と関わりを持っている。 ・関係者会議に参加している。今後もっと連携できるようにしていく。 ・地域の学校とは特に連携を重視している。（坪生小など） 	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	5	0	<ul style="list-style-type: none"> ・モニタリング、学校連携などを重視して行っているため、相手からの情報共有をしてくれる場面が多い。 ・連絡共有を行っている。 ・保護者からの聞き取りやHPからの情報、電話連絡等で確認を行っている。 ・学校との情報共有は保護者からの情報で知ることが出来ている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・変更がある場合も連絡があるが連絡が取りにくい学校もある。早めの保護者からの情報をお願いしたい。学校側からも情報が欲しい。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	1	4		<ul style="list-style-type: none"> ・次の集団に入る時期が最も特性が出やすいと思うので前段階の施設に情報を求めるのはその後を考えても大事だと思う。 ・全ての児童には対応できていない。 ・保護者からの聞き取りや相談支援事業所からの情報のみである。 ・就学前の事業所との連携はあまり出来ていない。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	2	3		<ul style="list-style-type: none"> ・卒業生おらず未実施。 ・まだ卒業該当児がいらないため実施していない。 ・対称者がいないため実施はしていないが支援内容の情報は提供したいと思うし、必要だと思う。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	3	2	<ul style="list-style-type: none"> ・常に連携を保ち何かあったときにはお互いに情報を、共有し対応している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・未実施。 ・児童発達支援センターとの連携はできていない。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	4	1	<ul style="list-style-type: none"> ・奏熊野、ムジカさんとの交流あり。 ・交流まではできていないが地域の子どもたちがいるお店へ訪問したことがある。 ・設定しては行っていないが公園に行った時等は地域の子どもたちと職員が関わりを持ってるように声かけを行ったり、自分から声をかける姿も見られる。 	
	33	(自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか。	3	2	<ul style="list-style-type: none"> ・参加していると思われる。 ・研修などでの参加を行っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・わかりません ・自分はまだ参加していないのでわからない。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	5	0	<ul style="list-style-type: none"> ・こまめに共有されている。 ・子どもの事業所での様子をできるだけ伝えたり、家での様子を聞いたりする中で共通理解を持とうと努力している。 ・送迎や直接迎えに来られた保護者の方と話す。保護者の方から相談がある場合はその場で話を聞き適切な対応を行い全体で共有する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者の声ばかりに耳を傾け支援が滞る・偏る。
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	4	1	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者会で実施予定 ・今年度初めて家族会を行う。今後に生かしていく。 ・今はとことこスマイルさんなどの居場所作りや不登校の親の会などから多くの研修の情報を発信している。職員もなるべく参加をしている。 	

保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	3	2	・利用者負担が変更なる場合は事務責任者が適切な対応と説明を行っている。	・詳細に行われていない。 ・運営規定や支援プログラムまではなかなか説明する機会がない。
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5	0	・児童や保護者に寄り添った支援が多い。 ・家族相談やモニタリングにて行われている。	・尊重しすぎていると感じる ・特定の保護者・児童に寄り添っている。 ・面談の機会を設けているがすべての保護者に面談が出来ていない。
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	5	0	・実施されていると思う ・計画書を示しながらわかりやすい説明を心掛けており、同意を得ている。 ・管理者を中心に行われている。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5	0	・対応されている。 ・送迎時やお迎えの際に最近の困り事などあるかなど尋ねたり子どもたちの、様子を伝える中で相談されたりする事がある。その場で答えられる場合と、一旦持ち帰り改めて返事をする場合がある。	・送迎時等を利用して保護者からの相談を聞いており、支援につなげている。しかし、会う機会が少ない保護者からの相談を聞くことが難しい。
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	5	0	・3月に保護者会実施予定。 ・保護者会の開催を行う予定。	
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5	0	・その都度対応している。 ・自分で対応できないものについてはすぐに管理者に報告し、対応をお願いしている。 ・個人で対応できない場合は管理者や他の職員の、意見を聴きながら適切な対応を心がけている。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	5	0	・よく配信している。 ・SNSでの発信を中心に行っている。 ・インスタやFacebookを通して発信を続けている。	・不定期、労働時間外での更新がされている。 ・事業所のアカウントではなく管理者の個人利用になっていると感じる。 ・管理者が発信しているので自分は関わっていない。投稿する時間帯や内容は今後再考する。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	4	1	・顔出し禁止などの子どもには特に注意して行っている。	・配慮はされているが十分とは言いきれない。 ・SNSについて個人情報の取り扱いの線引きが難しいと感じている。今後ははっきりしていくほうが良いのではと思う。
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5	0	・実施されている。 ・詳しい説明や対応を丁寧に説明している。 ・金銭面についてはわかりやすい提示をしている。 ・分かりやすく細かく情報を提供している。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	4	1	・実施されている。 ・事業所の周囲の掃除をしたり、ハロウィンで訪ねたりして事業所を認知していただけるように心がけている。 ・ハロウィンや餅つきなど地域と一緒に行事を行い連携をしている。	
	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5	0	・SNS等で家族周知をしている。	・感染症については実践研修をして確認している。その他はあまり実施していないので今後実施して確認する機会を設ける。 ・事業所内では訓練や練習を行っている(感染症)他もする必要はある。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	4	1	・実施されている。 ・毎月の避難訓練を行っている	・策定はしているが訓練が実施できていない。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	4	1	・服薬がある時には一人で実施せず、声を出して他の職員と一緒に確認している。 ・薬事情報を確認したり常備の薬についても確認している。	・職員全員が把握できる掲示が必要と思う。 ・予防接種の状況把握はされていない。

非常時等の対応	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	3	2		<ul style="list-style-type: none"> ・事例はないため未実施 ・医師の指示書はないがエビデンを所持しているので事業所では使用しないことにしている。 ・医師の指示書の提出は求めていない。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	1	4		<ul style="list-style-type: none"> ・利用児1人ひとりへの愛情が深いほど、社会生活において周囲や自分や家族が困ると思う行動は事例として対処法や将来への成長につながる支援が必要だと思う。 ・災害時・BCP研修はあったがそれ以外は未実施だと思う。 ・全員に周知できていないのではないかと感じる。
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	3	2		<ul style="list-style-type: none"> ・他害をする利用児がいることを子どもを通して知られるのではなく、そういった障害を持つ子にどのように支援し多児や職員が安心安全を確保しているかを、明確に示す姿勢がある方が不安や誤解を回避できると思う。 ・未実施だと思う ・周知できていないのではないかと考える。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	3	2	<ul style="list-style-type: none"> ・職員会議で議題に挙がる。 ・職員会議の際に事例や対策を共有している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ヒヤリハットは即時に共有し、職員全員がどうすれば防げたかを意見し、管理者が総評、すべき行動を提示すると危機感と事前回避につながるのでは。 ・防止策は出るも実践されていない、現場で変更あり。 ・報告件数が少ない、報告が上がっていないものが多い気がする。 ・随時ヒヤリハットについて提出を求めて対応する必要がある。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	3	2	<ul style="list-style-type: none"> ・多くの研修を行っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・身体拘束、危険回避などは自己判断だとチーム内からも虐待と取られかねない。常にそういう状況を共有し、職員間で最善の対応策を吟味し保護者に伝える。また、職員同士でシュミレーションする事で、意識共有の中で安心して働く事ができると思う。また、その内容や事象の家族への伝達は密にし誤解が生じない関係性を作ってほしい。特に他害に関しては、写真を撮り送迎時見せて伝えて大きなトラブルを未然に回避してほしい。
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	5	0	<ul style="list-style-type: none"> ・その都度保護者にも共有している ・契約時に説明をして同意を得ている。 ・契約時にやむを得ず身体拘束を行う事に対しての情報提供と同意書を、提出して頂いている。 	